

発注企業動向調査結果

-2020.10-

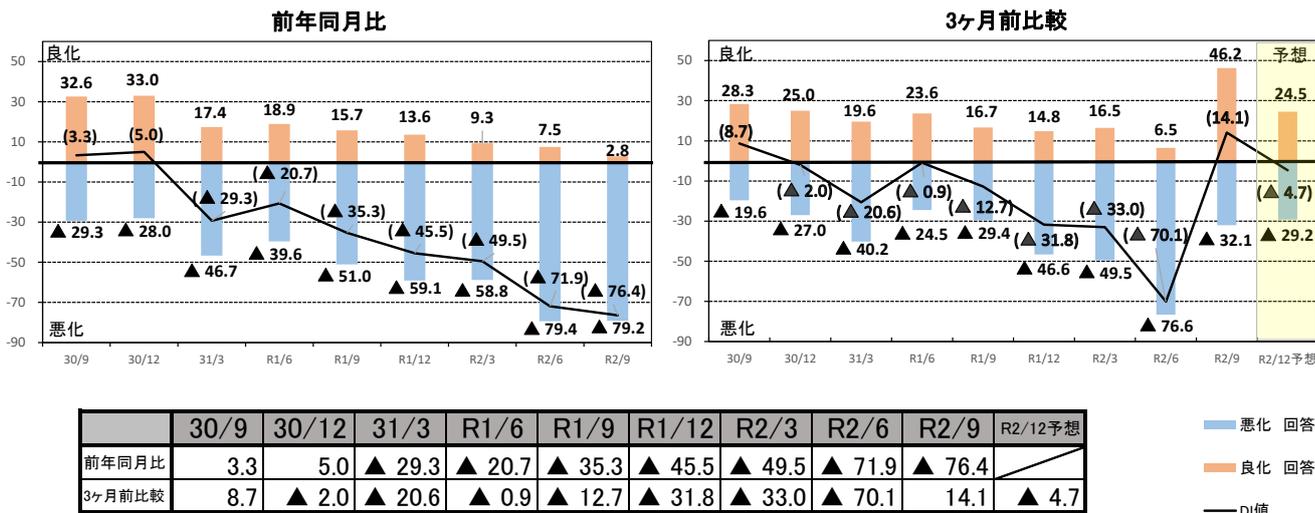
- 調査時点 令和2年9月調査(令和2年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業106社(回答率:70.67%)

<業種内訳>

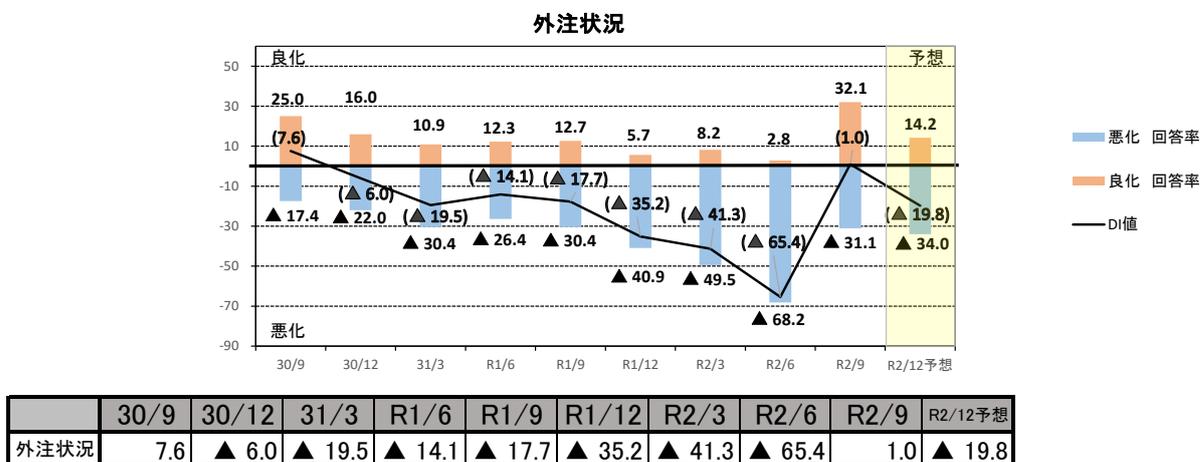
プラスチック	11社
鉄鋼・非鉄	13社
金属製品	8社
一般機械器具	20社
電気機器	24社
輸送用機器	19社
精密機器	5社
縫製	6社
計	106社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲76.4で前回の▲71.9から4.5ポイント減の悪化となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは14.1で前回の▲70.1から84.2ポイント増の改善となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は1.0で前回の▲65.4から66.4ポイント増の改善となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲4.7で18.8ポイント減の悪化、外注状況が▲19.8で20.8ポイント減の悪化という予想になった。
- ・その他自由意見として、主力の取引先の生産が回復していない。売上回復の見通しが立たないため、しばらく厳しい状況になりそうである。少しずつであるが、売上が回復して来ている。コロナの悪影響が緩和し、3ヶ月前から回復傾向だが、先行きは不透明であるという意見が寄せられた。